

(セグメント情報等)

1. セグメント情報

(1) 報告セグメントの概要

当社の報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものです。

当社は製品・サービス別に「化学」、「医薬」、「建設資材」、「機械・金属成形」、「エネルギー・環境」、「その他」を報告セグメントとしております。

「化学」は、ナイロン樹脂、カプロラクタム（ナイロン原料）、工業薬品、ポリブタジエン（合成ゴム）、電池材料、ファインケミカル、ポリイミド、機能品等の製造、販売を行っております。

「医薬」は、医薬品（原体・中間体）の製造、販売を行っております。

「建設資材」は、セメント、生コン、石灰石、建材関連製品、カルシア・マグネシア、機能性無機材料等の製造、販売、資源リサイクルとして廃棄物の利用を行っております。

「機械・金属成形」は成形機、産業機械（運搬機、粉碎・破砕機）、橋梁・鉄構、製鋼品等の製造、販売を行っております。

「エネルギー・環境」は、石炭の輸入、販売、コールセンターの運営、電力卸供給事業（IPP）を含む電力供給事業を行っております。

「その他」は、不動産の開発、売買、賃貸等、並びに海外における当社グループの製品の販売を行っております。

(2) 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理の方法は、「連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項」における記載と同一です。

報告セグメントの利益は、営業利益ベースの数値です。

セグメント間の内部売上高又は振替高は市場実勢価格に基づいております。

(3) 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額に関する情報
前連結会計年度(自平成26年4月1日 至平成27年3月31日)

(単位: 百万円)

	報告セグメント							調整額 (注1)	連結財務諸 表計上額 (注2)
	化学	医薬	建設資材	機械・ 金属成形	エネルギー・ 環境	その他	計		
売上高									
外部顧客への売上高	271,398	7,819	216,475	76,511	54,317	15,239	641,759	—	641,759
セグメント間の内部 売上高又は振替高	8,762	—	5,944	2,445	12,454	2,148	31,753	△31,753	—
計	280,160	7,819	222,419	78,956	66,771	17,387	673,512	△31,753	641,759
セグメント利益又は損 失(△)(営業利益又 は損失(△))	△939	902	17,033	4,305	2,840	1,146	25,287	△1,140	24,147
セグメント資産	332,509	10,916	208,346	62,424	53,263	17,610	685,068	26,478	711,546
その他の項目									
減価償却費(注3)	18,797	777	8,153	1,355	2,596	616	32,294	1,292	33,586
持分法適用会社への 投資額	14,257	—	8,087	—	1,113	2,415	25,872	—	25,872
有形固定資産及び無 形固定資産の増加額 (注4)	20,282	702	10,731	1,806	7,452	405	41,378	1,126	42,504

(注1) 調整額は以下のとおりです。

- (1) セグメント利益又は損失(△)の調整額△1,140百万円には、セグメント間取引消去△119百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△1,021百万円が含まれております。全社費用は主に報告セグメントに帰属しない一般管理費等です。
- (2) セグメント資産の調整額26,478百万円には、セグメント間の債権の消去等△39,868百万円、報告セグメントに帰属しない全社資産66,346百万円が含まれております。
- (3) 減価償却費の調整額1,292百万円は、報告セグメントに帰属しない全社資産の減価償却費です。
- (4) 有形固定資産及び無形固定資産の増加額の調整額1,126百万円は、報告セグメントに帰属しない全社資産の増加額です。

(注2) セグメント利益又は損失(△)は、連結財務諸表の営業利益と調整を行っております。

(注3) 減価償却費には、長期前払費用及び繰延資産の償却額を含んでおります。

(注4) 有形固定資産及び無形固定資産の増加額には、長期前払費用及び繰延資産の増加額を含んでおります。

当連結会計年度（自平成27年4月1日 至平成28年3月31日）

(単位：百万円)

	報告セグメント							調整額 (注1)	連結財務諸 表計上額 (注2)
	化学	医薬	建設資材	機械・ 金属成形	エネルギ ー・環境	その他	計		
売上高									
外部顧客への売上高	258,661	9,221	231,051	71,367	56,616	14,834	641,750	—	641,750
セグメント間の内部 売上高又は振替高	8,075	59	6,292	2,068	12,450	1,958	30,902	△30,902	—
計	266,736	9,280	237,343	73,435	69,066	16,792	672,652	△30,902	641,750
セグメント利益（営業 利益）	12,083	1,105	19,841	4,600	3,856	1,142	42,627	△1,219	41,408
セグメント資産	301,784	12,533	216,948	62,039	49,014	16,246	658,564	21,219	679,783
その他の項目									
減価償却費（注3）	20,491	837	8,309	1,415	2,870	609	34,531	1,043	35,574
持分法適用会社への 投資額	18,407	—	8,322	—	1,199	2,270	30,198	—	30,198
有形固定資産及び無 形固定資産の増加額 (注4)	14,610	703	14,716	1,620	1,002	570	33,221	1,208	34,429

(注1) 調整額は以下のとおりです。

- (1) セグメント利益の調整額△1,219百万円には、セグメント間取引消去△131百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△1,088百万円が含まれております。全社費用は主に報告セグメントに帰属しない一般管理費等です。
- (2) セグメント資産の調整額21,219百万円には、セグメント間の債権の消去等△45,632百万円、報告セグメントに帰属しない全社資産66,851百万円が含まれております。
- (3) 減価償却費の調整額1,043百万円は、報告セグメントに帰属しない全社資産の減価償却費です。
- (4) 有形固定資産及び無形固定資産の増加額の調整額1,208百万円は、報告セグメントに帰属しない全社資産の増加額です。

(注2) セグメント利益は、連結財務諸表の営業利益と調整を行っております。

(注3) 減価償却費には、長期前払費用の償却額を含んでおります。

(注4) 有形固定資産及び無形固定資産の増加額には、長期前払費用の増加額を含んでおります。

(4) 報告セグメントの変更等に関する事項

平成27年4月より化学部門の経営体制を見直したことに伴い、当連結会計年度より、従来の化成品・樹脂セグメントと機能品・ファインセグメントを統合し化学セグメントといたしました。

なお、前連結会計年度のセグメント情報は、変更後のセグメント区分で記載しております。

2. 関連情報

前連結会計年度（自平成26年4月1日 至平成27年3月31日）

(1) 製品及びサービスごとの情報

セグメント情報の中で同様の情報を記載しているため、記載を省略しております。

(2) 地域ごとの情報

①売上高

(単位：百万円)

日本	アジア	ヨーロッパ	その他	計
444,197	127,792	39,050	30,720	641,759

(注) 売上高は顧客の所在地を基礎とし、国又は地域に分類しております。

②有形固定資産

(単位：百万円)

日本	タイ	その他アジア	ヨーロッパ	その他	計
266,563	60,074	5,616	14,793	392	347,438

(3) 主要な顧客ごとの情報

特定の外部顧客への売上高が連結損益計算書の売上高の10%未満であるため、記載を省略しております。

当連結会計年度（自平成27年4月1日 至平成28年3月31日）

(1) 製品及びサービスごとの情報

セグメント情報の中で同様の情報を記載しているため、記載を省略しております。

(2) 地域ごとの情報

①売上高

(単位：百万円)

日本	アジア	ヨーロッパ	その他	計
458,098	117,297	36,459	29,896	641,750

(注) 売上高は顧客の所在地を基礎とし、国又は地域に分類しております。

②有形固定資産

(単位：百万円)

日本	タイ	その他アジア	ヨーロッパ	その他	計
255,944	50,243	1,460	15,130	1,023	323,800

(3) 主要な顧客ごとの情報

特定の外部顧客への売上高が連結損益計算書の売上高の10%未満であるため、記載を省略しております。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失に関する情報

前連結会計年度（自平成26年4月1日 至平成27年3月31日）

(単位：百万円)

	化学	医薬	建設資材	機械・ 金属成形	エネルギー・ 環境	その他	全社・消去	計
減損損失	387	—	947	—	—	—	262	1,596

(注) 「全社・消去」の金額は、セグメントに所属しない全社資産に係る減損損失です。

当連結会計年度（自平成27年4月1日 至平成28年3月31日）

(単位：百万円)

	化学	医薬	建設資材	機械・ 金属成形	エネルギー・ 環境	その他	全社・消去	計
減損損失	8,875	—	107	—	—	—	98	9,080

(注) 「全社・消去」の金額は、セグメントに所属しない全社資産に係る減損損失です。

4. 報告セグメントごとののれんの償却額及び未償却残高に関する情報

前連結会計年度（自平成26年4月1日 至平成27年3月31日）

(単位：百万円)

	化学	医薬	建設資材	機械・ 金属成形	エネルギー・ 環境	その他	全社・消去	計
当期償却額	114	—	34	—	—	—	—	148
当期末残高	1,229	—	169	—	—	—	—	1,398

なお、平成22年4月1日前行われた企業結合等により発生した負ののれんの償却額及び未償却残高は、以下のとおりです。

(単位：百万円)

	化学	医薬	建設資材	機械・ 金属成形	エネルギー・ 環境	その他	全社・消去	計
当期償却額	226	—	34	—	—	21	—	281
当期末残高	1,903	—	375	—	—	105	—	2,383

当連結会計年度（自平成27年4月1日 至平成28年3月31日）

(単位：百万円)

	化学	医薬	建設資材	機械・ 金属成形	エネルギー・ 環境	その他	全社・消去	計
当期償却額	113	—	34	—	—	—	—	147
当期末残高	1,010	—	135	—	—	—	—	1,145

なお、平成22年4月1日前行われた企業結合等により発生した負ののれんの償却額及び未償却残高は、以下のとおりです。

(単位：百万円)

	化学	医薬	建設資材	機械・ 金属成形	エネルギー・ 環境	その他	全社・消去	計
当期償却額	226	—	33	—	—	21	—	280
当期末残高	1,677	—	342	—	—	84	—	2,103

5. 報告セグメントごとの負ののれん発生益に関する情報

前連結会計年度（自平成26年4月1日 至平成27年3月31日）

「化学」において、持分法適用関連会社であったアドバンスド・エレクトロライト・テクノロジーズ、エルエルシーの持分を追加取得し、連結子会社としたことなどにより、負ののれん発生益を240百万円計上しております。

当連結会計年度（自平成27年4月1日 至平成28年3月31日）

該当事項はありません。